

いつも健康であるための地域医療情報誌

観光町

# メディカル通信

Vol.12  
2013.8

発行/NTT西日本 高松診療所 予防医療センター 高松市観光町649-8 TEL087-839-9620(代) FAX087-861-7079  
ホームページ <http://www.ntt-hospital.jp/>

審査13-1249-3



私たちの施設が開設50年を迎え内科外来では初めて大きくリフォームを行いました。

診療棟1階の東側は、昭和46年から臨床検査室、小児科、内科の外来があり、各外来とも1診のみでした。当時は電電公社社員のみの病院で患者様も少なく診察室の間取りも十分あり明るく広く使用できていました。その後、時代の流れとともに一般開放、香川大学医学部よりの医師派遣等に伴い、内科の患者数も増えていきました。平成2年には

小児科が休診となり、超音波検査室、心療内科の部屋へと変わりました。平成13年福井先生が所長に就任され、女性医師との2診体制へと移り、内科外来をカーテンで仕切った診察室に模様替えしていました。

隣の声がかかるとプライバシーも保たれない診察室でしたし、狭い採血室で患者様にご迷惑をおかけしましたがついに念願のリフォームを行いました。

平成25年1月より外来スタッフ、建築を請け負うNTTファシリティーズの方と何度も打ち合わせを行い、壁に穴をあけるといいう大がかりな工事でしたが、おかげさまで希望にかなった内科外来に出来上がりました。

新しい第一診察室は待合いからすぐに入れる場所へと移動し、また診察室の入口は引き戸にし、車いすでの出入りも楽にできるように広く取りました。

診察室と処置室の間は、パーテーションを新設しプライバシー感を出し、採血室は明るく広い空間で、色調も白で統一し清潔感を出しています。スタッフの各部屋の出入りは廊下側からでしたが、バックヤードをスタッフが通れるようになり各部屋への移動がしやすくなりました。

患者様の反応は、明るくなった、広くなった、違う場所に来たみたいと予想以上に褒めの言葉を頂き好評です。

今後もスタッフ一同患者サービスを心がけ、地域に貢献した医療施設を目指したいと思います。

内科外来スタッフ一同

# ヘリコバクター・ピロリ感染性胃炎（ピロリ菌感染症）

## ピロリ菌と病的意味

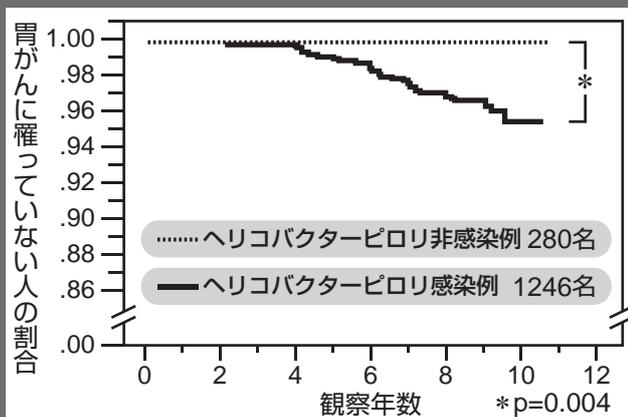
胃に生息可能な細菌であり胃の様々な病気の発生に深く関わっています。感染経路はよくわかっていますが1955年くらいまでの良好といえない環境で育った世代で感染者が多く、上下水道などの衛生環境が大きな原因と考えられています。幼少期に感染し自然に消えることはなくピロリ菌を殺菌治療（除菌といいますが）しないかぎり一生胃に住み続けると考えられています。

## ピロリ菌感染症と除菌の意義

胃にピロリ菌が感染すると胃炎が発症します。慢性胃炎は自然治癒せず長い間胃の正常細胞にダメージを与え続けます。喫煙や塩分過剰摂取などの習慣などが重なり、慢性胃潰瘍や更には胃がんの発生にも関わると考えられています。胃がんとピロリ菌感染の関わりについては、厳密に判定されたヘリコバクター・ピロリ非感染者と感染者を平均8年間追跡したところ、感染者では2・9%に胃がんが発症し、非感染者には胃がんの発生を認めなかったという報告があります。（図1）

では除菌を行えば発症率を抑えられるか、と

図1 追跡調査によるヘリコバクター・ピロリ感染と胃がんの関係



（文献1より一部改変し転載）

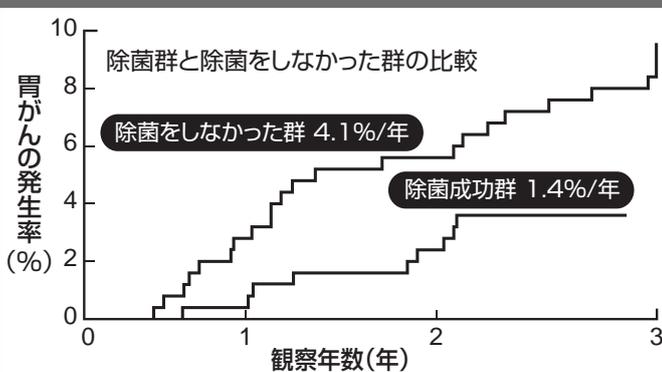
いうことについては、胃がんの発症を完全には抑制できないものの、減らすことが可能ということが証明されました。（図2）当院の過去2年間の検討でも、除菌療法を過去に受けた患者さんでは、潰瘍の再発はなく、大部分の方で胃粘膜の状態がほぼ正常の状態にまで回復していることが観察されました。また除菌療法を受けた群からは現時点では胃がんを新たに発症した患者さんはみられていません。

## 当院の現在の取り組み

慢性胃炎はほとんどが無症状であるため、慢

性胃炎に罹患しているかどうかを判定することが現在ではもつとも難しいことと考えられます。当院では悪性疾患の診断目的で内視鏡やX線検査を行っていますが慢性胃炎の所見が認められる方には、ピロリ菌感染の可能性、更には除菌についても説明を行うように努めています。今年からピロリ菌による慢性胃炎は保険で除菌治療が可能になりました。過去に胃炎・胃が荒れている等、の説明を受けた方は一度ご相談下さい。

図2 早期胃がんの内視鏡治療後の胃がんの再発率（文献2より一部改変して転載）



## 参考文献

- 1) 上村直美、他：  
Helicobacter pyloriと胃癌—背景胃粘膜の立場から：萎縮性胃炎・腸上皮化生・胃と腸 42:937-945,2007
- 2) 加藤元嗣、他：  
Helicobacter pyloriと胃癌—除菌による胃がんの予防は可能か、胃と腸 44:1402-1411,2009

# 臨床検査室からのお知らせ

## LOX-index 脳梗塞・心筋梗塞発症リスクマーカー

### ◆ LOX-index 検査とは？

血液中の変性LDLとsLOX-1を検査することで将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを予測する血液検査です。将来のリスクを把握し、脳梗塞・心筋梗塞の発症を予防していただくため、是非お受けいただく事をお奨め致します。

### ◆ LOX-index と疾患リスク

【脳梗塞発症との関係】

【心筋梗塞発症との関係】



引用：Clinical Chemistry 2010; v.56, p.550-558.

### ◆ LOX-index の受診対象者

- ご家族に脳梗塞・心筋梗塞に罹った人がいらっしゃる方
- 高血圧、脂質異常症、糖尿病に罹っており、動脈硬化が気になる方
- 将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクが気になる方

### 検査について

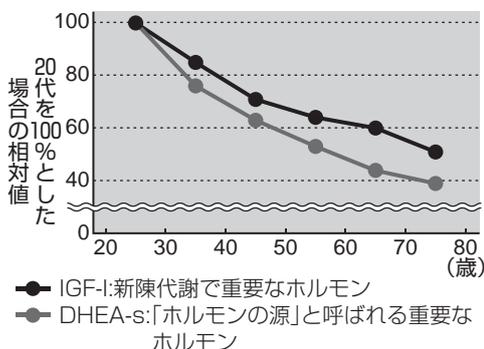
- 検査は、採血のみで約10分程度で完了します。
- 結果報告：別紙報告書の提供（※10日～14日）

## ホルモン年齢検査

### ◆ ホルモン年齢検査とは？

ホルモン年齢検査は、年齢と共に減少するホルモンの分泌量を測定し、これまで実施された膨大なデータと比較することで、分泌量の不足やバランスをチェックする検査です。

### 年齢とホルモン量の関係



### 生命の維持にはホルモンが大切

体内では50種類以上のホルモンが、うまく働き生命を維持しています。検査ではその中のIGF-1とDHEA-sを含む検査を行います。この2つのホルモンは、加齢による減少が著しい事が知られています。

### 検査について

- 検査は、採血のみで約10分程度で完了します。
- 結果報告：別紙報告書の提供（※10日～14日）

### ◆ ホルモン年齢検査は、こんな方へおすすめ！

更年期障害でお悩みの方・肌が気になる方・ストレスの多い方・なんとなく体調の悪い方

お問い合わせ

NTT西日本高松診療所 予防医療センター

TEL:087-839-9620

電話番号をお確かめの上お間違いの無いようお願いいたします

## 糖尿病の治験にご協力下さい

### 【治験にご参加頂ける方】

- 2型糖尿病の患者さま
- 糖尿病治療のお薬を服用中の方や食事・運動療法を受けている方
- 医師の指示を守ってできる方



※上記以外にも参加条件があります。詳しくは医師またはスタッフにお問い合わせ下さい。

※参加条件に合わない場合や予定の人数に達した場合などはご参加頂けない場合もありますので予めご了承下さい。

当院では、治験担当のスタッフが常駐しています。糖尿病以外の治験についても、ご興味があれば主治医にご相談下さい。



### お問い合わせ窓口

NTT西日本高松診療所 予防医療センタ

連絡先

☎087-839-9620

電話番号をお確かめの上お間違いの無いようお願いいたします

お問い合わせ頂いた方のプライバシーは厳守します。治験への参加は、患者さまの自由な意思によるものです。参加を希望されない場合や途中で参加を取りやめた場合でも、患者さまの治療に差し支えることもなければ不利益を受けることもありません。

### 治験Q&A

#### Q12. 治験はどのくらいの期間参加しなければいけませんか？

治験薬を服用する期間は3ヶ月、1年、3年など、治験ごとに異なりますが、そのお薬のデータを収集するのに必要な期間が決まっています。また、治験薬を服用前に治験に参加できるかどうかを判定する観察期間、服用後には治験終了後に問題が無かったか判断する後観察期間がある場合もあります。これらも同じく、そのお薬に合わせて期間が決まっています。

治験に参加したいけれど、転居の予定が決まっているなど参加期間に不安のある方は、一度治験スタッフにご相談下さい。

### 歯科健診のご案内

**曜日・時間帯** 月～金曜日、11:30～

**健診内容** 歯周病や虫歯の検査、かみ合わせのチェック

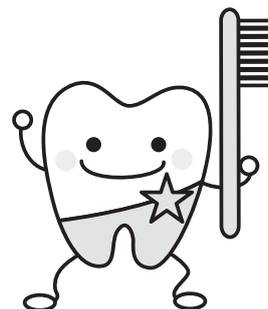
**所要時間** 約15～20分

費用等その他詳細については下記までお気軽にお問い合わせ下さい。

NTT西日本 高松診療所 予防医療センタ

**TEL:087-839-9620**

電話番号をお確かめの上お間違いの無いようお願いいたします



# NTT西日本高松診療所

# 予防医療センターは

# 公共建築100選

# に選出されています。

公共建築100選とは、1998

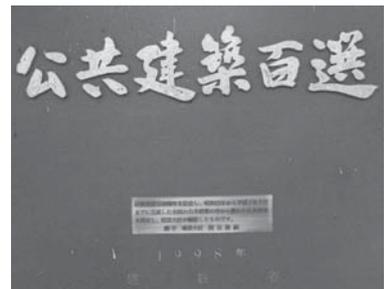
年に当時の建設省（現在は国土交通省）によって選出された、全国100の優れた公共建築物のことで、主な選定基準は地域への貢献度で、地域に根ざした建築であることが要点となっています。香川県は他に瀬戸内海歴史民俗資料館、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、丸亀市立図書館が選出されています。

現在はNTT西日本高松診療所予防医療センターという名称ですが、元は昭和37年2月に高松通信病院という名称で電電公社職員および社員家族のための医療機関として開設しました。設計者は日本武道館、京都タワー等の著名な建築物の設計者の山田守です。山田守の作品は曲面や曲線を用い、装飾を排除し、空間性を重要視しているのが特徴です。NTT西日本高松診療所 予防医療センターも、水平に続く連続窓、軽快なデザイン、連続する内部空間が特

徴的な造りになっています。またNTT西日本高松診療所 予防医療センターは公共建築100選の他に、讃岐建築物50選、高松市建築物再発見50にも選出されています。

## 選出された四国内の公共建築物

建築名	所在地		施工年
鳴門市文化会館	徳島県	鳴門市	1982年(昭和57年)
NTT高松病院 (現 NTT西日本高松診療所 予防医療センター)	香川県	高松市	1962年(昭和37年)
香川県庁舎			1958年(昭和33年)
瀬戸内海歴史民俗資料館			1973年(昭和48年)
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・丸亀市立図書館		丸亀市	1991年(平成3年)
新居浜市立別子銅山記念図書館	愛媛県	新居浜市	1992年(平成4年)
内子町立大瀬中学校		喜多郡内子町	1992年(平成4年)
いの町紙の博物館	高知県	吾川郡伊野町 (現いの町)	1985年(昭和60年)



NTT西日本 高松診療所 予防医療センターの外観

## 平成25年度 高松市各種検診(健診)のご案内

実施種別	対象者	自己負担金	実施月
前立腺がん検診 (血液検査)	・50歳以上の男性	70歳未満 1,200円 70歳以上 600円	7~10月
肝炎ウイルス検診 (血液検査)	・40歳の人 ・40歳以上で、過去に検診を受けていない人 特定健康診査等で肝機能に異常があった人	無料	
大腸がん検診 大腸がん無料クーポン券検診 (便潜血反応検査)	・40歳以上の人 ・大腸がん無料クーポン券検診対象者 (40・45・50・55・60歳の人)	500円 無料(クーポン券対象者)	
乳がん検診・ 乳がん無料クーポン券検診 (視触診・マンモグラフィ検査)	・40歳以上で偶数年齢の女性 ・乳がん無料クーポン券検診対象者 (40・45・50・55・60歳女性) ・前年度の対象者で、未受診の人	40歳代 2,500円 50歳以上 2,000円 無料(クーポン券対象者)	7~2月
子宮頸がん検診・ 子宮頸がん無料クーポン券検診 (子宮頸部の細胞診)	・20歳以上で偶数年齢の女性 ・子宮頸がん無料クーポン券検診対象者 (20・25・30・35・40歳女性) ・前年度の対象者で、未受診の人	2,200円 無料(クーポン券対象者)	7~2月

### 受信者の皆さまへ

検診(健診)の対象者には、受診券が送付されています。必ず受診券をお持ちください。  
 検診(健診)【精密検査含む】の結果については、実施主体である高松市に報告されますので、  
 ご了承ください。  
 受診当日にすぐ医療を受けることもありますので、保険証をご持参ください。

### 「日本臨床検査技師会精度 保証施設」として認証される

昨今、臨床検査データが疾患の診断やドック・健診  
 などの予防医療に活用されています。そのためには、  
 データの信用性が保証されなければなりません。  
 そこで日本臨床検査技師会では、いっしょに実施さ  
 れても信頼性の高い検査結果が得られるよう標準  
 化活動を進めており、「標準化され、かつ、精度が保  
 証されている」と評価できる施設に対し、精度保証施  
 設として認証する」という制度を平成22年度に発足  
 させました。

当臨床検査室では、日本医師会・日本臨床検査技  
 師会・香川県臨床検査技師会や各企業主催の臨床検  
 査精度管理調査に取り組んでおり、毎年優秀な成績  
 を得て表彰されています。

この度、日本臨床検査技師会の臨床検査精度管理  
 制度に参加し「精度保証施設」として認証されまし  
 たことを、ここに報告いたします。

臨床検査室では、スタッフをあげて、正確な健診結  
 果を迅速に提出するためにますますの精度管理に  
 励み、患者様に更なる良質な医療をご提供できるよ  
 う、努力していきます。

臨床検査室

# 第13回 臨床血圧脈波研究会でフォーカスレクチャーを行いました。

日本高血圧学会生涯教育講演会でもある第13回臨床血圧脈波研究会(2013年6月8日 コングレコンベンションセンター 大阪/梅田)で、所長の福井敏樹がフォーカスレクチャーにおいて「生活習慣病対策における内臓脂肪量測定の重要性」のタイトルでの講演を行いました。講演内容については、6月25日付けのJapan Medicine に掲載紹介されました。



**第13回 臨床血圧脈波研究会 PWV/ABIと中心血圧・AI 基礎から臨床・予防への応用まで**

日本高血圧学会生涯教育講演会

2013年6月8日(土) 10:00~17:00

コングレコンベンションセンター  
PWC(大阪)PWC(東京)PWC(名古屋)PWC(福岡)

http://www.congrec.jp/

主催 福井敏樹 (NTT西日本高松診療所予防医療センター)

協賛 日本高血圧学会 日本動脈硬化学会 日本循環器学会 日本糖尿病学会 日本脂質代謝学会 日本肥満学会 日本高脂血症学会 日本高尿酸血症学会 日本高血圧学会生涯教育委員会

協賛 日本高血圧学会 日本動脈硬化学会 日本循環器学会 日本糖尿病学会 日本脂質代謝学会 日本肥満学会 日本高脂血症学会 日本高尿酸血症学会 日本高血圧学会生涯教育委員会

協賛 日本高血圧学会 日本動脈硬化学会 日本循環器学会 日本糖尿病学会 日本脂質代謝学会 日本肥満学会 日本高脂血症学会 日本高尿酸血症学会 日本高血圧学会生涯教育委員会

協賛 日本高血圧学会 日本動脈硬化学会 日本循環器学会 日本糖尿病学会 日本脂質代謝学会 日本肥満学会 日本高脂血症学会 日本高尿酸血症学会 日本高血圧学会生涯教育委員会

## 血管機能評価法のガイドラインを紹介 心血管疾患管理の標準的利用を

第13回臨床血圧脈波研究会が日本高血圧学会で開かれ、特別報告で動脈硬化の臨床的意義について、福井敏樹が講演した。その中で、血管機能評価法のガイドラインを紹介し、心血管疾患管理の標準的利用を述べた。

福井敏樹は、動脈硬化の臨床的意義について、血管機能評価法のガイドラインを紹介し、心血管疾患管理の標準的利用を述べた。その中で、血管機能評価法のガイドラインを紹介し、心血管疾患管理の標準的利用を述べた。

**生活習慣病対策に内臓脂肪測定が重要**

福井敏樹は、動脈硬化の臨床的意義について、血管機能評価法のガイドラインを紹介し、心血管疾患管理の標準的利用を述べた。その中で、血管機能評価法のガイドラインを紹介し、心血管疾患管理の標準的利用を述べた。

福井敏樹は、動脈硬化の臨床的意義について、血管機能評価法のガイドラインを紹介し、心血管疾患管理の標準的利用を述べた。その中で、血管機能評価法のガイドラインを紹介し、心血管疾患管理の標準的利用を述べた。

# 第13回 日本抗加齢医学会総会開催～アンチエイジングでつながる医学～

第13回日本抗加齢医学会総会が、順天堂大学大学院医学研究科泌尿器外科学教授堀江重郎先生が会長を務められ、「アンチエイジングでつながる医学」をメインテーマに、パシフィコ横浜を会場に6月28日から30日まで3日間にわたって開催されました。

今回初めての試みとして日本人間ドック学会との合同シンポジウムが企画され、日本人間ドック学会学術委員長である山門實先生と同学術委員である所長の福井敏樹が司会を務め、福井所長は「アンチエイジングドックにおける動脈硬化ドックの役割」という演題名で講演も行いました。



**第13回 日本抗加齢医学会総会**  
13th Scientific Meeting of the Japanese Society of Anti-Aging Medicine

アンチエイジングでつながる医学  
Share and Spread Anti-Aging Medicine

http://13jaam.jp

パシフィコ横浜 会議センター

2013年6月28日(金)・29日(土)・30日(日)

**シンポジウム21**

【第3日目】6月30日(日) 第3会場(502) 10:40~12:10

**日本人間ドック学会合同シンポジウム～アンチエイジングドックの検証～**

座長：山門 實 (三井記念病院総合健診センター)  
福井 敏樹 (NTT西日本高松診療所予防医療センター)

**S21-1**  
**アンチエイジングドックにおける動脈硬化ドックの役割**

○福井 敏樹  
NTT西日本高松診療所予防医療センター

人間ドック健診は、生活習慣病を早期発見・早期介入することによる発症予防を主とし、がんの早期発見・早期治療をふたつ大きな柱としています。そしてその究極の目的を人間としての寿命の質の向上、すなわち健康寿命の延長におき、現在年間約300万人以上が受診している予防医療システムであり、我が国が世界トップクラスの長寿を誇っている要因の一つを成しているとも考えられます。生活習慣病対策は、動脈硬化対策に他なりません。「ひとと血管」ともいえる血管と、年齢相応に血管の動脈硬化はむとが起きていくうえで、防ぐことができない加齢現象とも考えられます。しかしながら、予防対応による血管の動脈硬化が進展し、その結果として、脳・心血管病変を発生させることは加齢を越えた老化現象として、年齢改善を目指すべき状態だと考えられます。また動脈硬化の進展度は加齢とともに個人差が大きくなっていくこともわかってきています。その意味で、動脈硬化検査は予防医療に携わる施設において、真撃に取組むべき共通の課題であるとも言えます。真撃に取組むとは、新しい検査を何でも取り入れてよいということではありません。根拠のある論文などで、結果の有用性がある程度蓄積していることが必要でしょう。また、予防医療に関わる全国の施設で実施可能であることも大切でしょう。さらには、受診者に過度の経済的負担がかかることや、結果を知ることによって不安を助長させられることも避けなければなりません。そういった観点から、どのような検査を動脈硬化検査として実施すべきか、またその有用性の意義はどの程度分かっているのか等について、我々の施設での結果を中心に講演させて頂きたいと思っております。

参考文献 1. 健診判定ガイドライン改訂版(共著) 動脈硬化ドック 195-2032008 文光堂  
2. 人間ドック健診における動脈硬化診断の重要性と新しい検査法について人間ドック vol.24; 132-137, 2010

●単項発表者の利益相反の有無：なし

## 新任ドクター紹介

## 予防医療センター担当医 田中 賢一

- ① 出身大学:香川大学医学部
- ② 専門分野:放射線診断
- ③ 趣味:アカペラ

- ④ 最近のお気に入り(TV、本):1歳の子供がいるため、朝は毎日NHKの「お母さんといっしょ」を見ています。
- ⑤ 一言:まだまだ若輩者ではございますが、地域医療に貢献させていただきたいと思っております。



# お弁当がリニューアルしました！

当施設では、人間ドック・健診を

受けられた方にお昼のお弁当をお出ししておりますが、これまでは『豪華でボリュームがあること』を

第一に考えて、メニューを選んでいました。ところが、最近、当の受診者様から「健診に来て体に悪いものを食べるのは変じゃない？」等のお声が寄せられるようになりました。メディアでは毎日のように某社員食堂に代表される多彩なヘルシーメニューが紹介されており、視聴者の健康食への関心の高さを物語っています。人間ドック・健診後の食事もこうした時流を受けて、新しくしていく時期がきていると感じました。

そこで、昨年の秋頃、他の健診施設や地元のカフェなどのヘルシーランチの資料を集め、それらを参考にしながら献立を作成し、業者との話し合い・試食などを重ねた結果、今年の四月から新弁当としてご提

供の運びとなりました。

新弁当の決定にあたって、特にこだわったところをいくつかご紹介いたします。

まず、ご飯に雑穀をブレンドし、量はお茶碗一杯分くらいにしました。エネルギー量(kcal)を一日の食事摂取基準の三分の一くらいに抑えるために、主食の量を控えめにし、雑穀をブレンドすることでミネラルや食物繊維を少しでも多く摂れるようにしたのです。

つぎに、タンパク質源としては魚・大豆・大豆製品を、不足しがちなビタミン・ミネラル・食物繊維の補給源としては野菜・海藻類をできるだけ多くとりいれました。いずれも生活習慣病の予防・改善におおいに働いてくれる食材です。

そして、一番こだわったのは噛む回数が自然と多くなるようにしたことです。そのための①肥満

予防&ダイエット②頭が良くなる&認知症の予防③唾液の抗菌作用や歯の再石灰化を促す作用で、虫歯や歯周病を予防④水晶体を調節する筋肉の老化を防止して視力をアップ⑤姿勢が正しくなる⑥しわを予防し若々しい表情を作る⑦唾液の抗酸化作用で、がんや心筋梗塞・脳卒中・動脈硬化などの生活習慣病を予防する、等の多くの効果が期待できます。

受診者の皆様のお腹も心も満たすことができ、更には食の面から生活習慣病の予防・改善に貢献していけたらと思っています。



## 編集後記

皆さん、今年の夏は一段と暑いですね。熱中症対策は万全でしょうか。

当施設では、皆さまのご意見を参考にさせていただき、内科外来・健診ドック等さまざまな環境設備にも特に力を入れて改善してきました。

是非、友人・知人にお声をかけて、足を運んでいただきたいと思います。

皆さまが、安心して診療・検査を受けられ、気持ちよくお帰りになることをスタッフ一同、心より願っております。

この情報誌のタイトルである「観光町メディカル通信」は、当院の所在地である「観光町」から、医療・医学の情報を発信し、皆様の健康を守っていききたいという思いを込めて付けられました。